

にこにこ情報

# 竹とんぼ



発行 社会福祉法人緑樹会

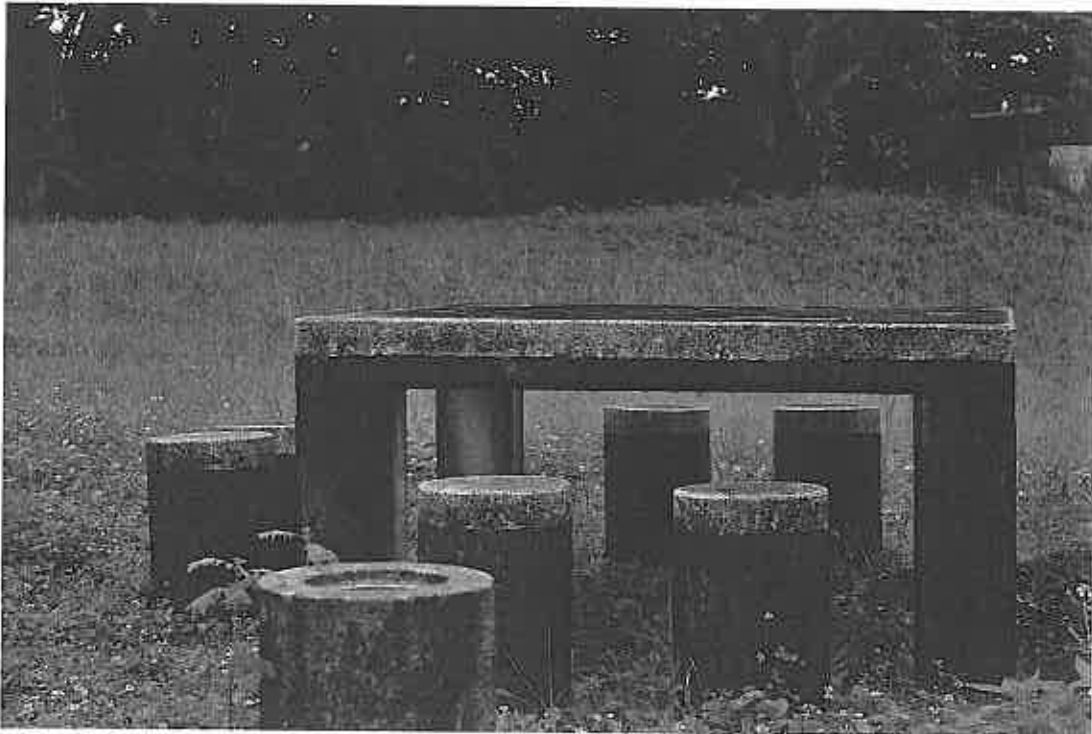
〒904-0021 沖縄市胡屋7-2-10

電話 098-930-2525 (にこにこ)

FAX 098-933-1324

ホームページ <http://www.ryokujukai.or.jp/>

メール [kikaku@ryokujukai.or.jp](mailto:kikaku@ryokujukai.or.jp)



撮影：江尻育弘（社会保険労務士江尻事務所）

## 飛行日誌

夏が来れば思い出す(どこかで聞いたような台詞)ことがあります。若い頃煩った病巣が、十三年前の夏に再び勢いをつけ、ほとんど寝たきりの状態になってしまいました。当時四十七歳の私は、奈落の底に突き落とされたような、ただただ不安と絶望と、恐怖に満ちた悶々とした時間をさ迷っていました。

私は、自分がいかに不安にさいなまれ、病が未来を閉ざし、阿鼻叫喚の地獄であえいでいるかを入院先の東京の病院から友人に手紙を書きました。

返事はなかなかきませんでした。そして、しばらく経って、彼は『病める友に送れる』という文章の一節を手紙に同封してきました。その中には、病氣の一番の苦しみは、病氣そのものではなく、頻繁に自分の脈をみたり、熱を気にしたり、自分の体を看護することだけが一番になってしまふ、病苦に伴う自己執着である。病氣を床の間に祭り上げて、朝から晩まで病氣様々と病氣にご奉公して、毎日病氣様に仕えて過ごす。つまり、病氣の奴隷になってしまつて、自分を見失つてしまふ、そのことこそ悲しむべき、恐ろしいことなのではないのか、ということが書かれていました。

私はその手紙を何度も読み返しながら、知らず知らずのうちに自分が、「病氣の奴隷」になって「病氣の思う壺」にはまってしまうていることを思いました。やがて、気持ち少し落ち着くと、少しだけ病氣以外のことも考えられるようになりました。いつしか病院の庭の銀杏の葉がわずかに色づき、秋の気配が忍び寄ってきていました。

でも、やっぱり人間はそう簡単にはいきません。悩みや不安はそんなに易々と去って行つてはくれません。ただ、「病氣の奴隷」という境地を知っただけでも、今はちょっとだけ楽になった気がしています。

(低空飛行／富永健)

## ■結成三十年を迎えた 緑樹苑エイサー

当時、副苑長だった現理事長・金城和昌の呼びかけでエイサー隊が結成されたのは法人設立五年目の昭和五十九年。沖縄市の山里エイサーに学び、地元の文化を継承したいという思いから、その型を取り入れることから始まったエイサー隊。メンバーは男子職員十五名、女子職員十三名、そして軽費老人ホームの利用者八名。殆どのメンバーはエイサー未経験であった。勤務後、夕方からの練習は大変だったろうと思いつき、当時から団長を務める浜川通総合福祉センター・緑樹苑統括センター長に話を聞いた。

方々と一緒に何かできないかな、と考えた時、よし、エイサーをやらう!!と」

まだまだ若い施設で、利用者職員一緒に頑張ってみんなで何かを作り上げたい、との気持ちもあったという。

「まさにそんな感じですよ。踊っている言葉では得られない一体感が生まれる。また、三線やカチャーシーなど、先輩方から得られることも数多い。そして練習後の語らい。仕事の後の練習は確かにしんどい。でも、一生懸命踊って汗をかけた後、今日の踊りはよかったです、あそこは失敗したなんて、職員と利用者関係なくおしゃべりをするのは最高に楽しかった」



結成間もない緑樹苑エイサー隊。当時は職員・利用者混合で構成されていた。(昭和60年ごろ)

## 竹とんぼ

「やっぱり、利用者に喜んでもらいたかったです。法人開設五年目だし、特別養護老人ホームが出来て一年目、職員はまだまだ右も左もわからないう。それでも毎日、入居されている皆さんが笑顔になる事ばかりを考えていました。それに当時の軽費老人ホームの入居者はまだまだ皆さんお元気で、利用者というよりも職場の先輩といった感じ。そんな

## ■「ひやみかちエイサー隊

平成二十三年三月十一日。日本は東日本大震災により未曾有の災害に襲われた。各地で被害が報告され、日本中が悲しみと不安の中にあつた。それは老人福祉施設も例外ではなかった。被災地の施設では、入居者の安心した暮らしを確保する為に職員が奔走していた。そして、身を粉にして働く職員自身も家族や知人を失い憔悴していると聞いた。同じ福祉施設として、職員の誰からともなく「被災地の仲間を元気づけよう」と声が上がったのが震災から半年たった九月初旬。緑樹苑近隣の施設にも声をかけ「ひやみかちエイサー隊」が結成された。総勢二十五名が一台のバスに揺られ、福島・茨城の三施設を訪ねた。それまでも

県外で演舞することは何度もあったがこの時は強い思いがあったと言つ。」「小指の痛みは全身の痛みなんです。遠く離れた地だからといって見ぬふりは絶対に出来ない。幸い、被害がなかった沖縄だからこそ困難な状況にある仲間たちの力になりたい。では我々に何が出来るのか、と考えた時、やはり少しでも笑顔になつて欲しくて出かけたんです」



# シースン到来!! 緑樹苑

# エイサー隊

## ■国際交流のさきがけ

結成から五年が経ち、それまで苑内の行事や地域の夏祭りでの演舞が主な活動だったエイサー隊に、沖縄市国際交流協会から市内在住の外国人への演舞指導と、沖縄全島エイサーまつりへの共同出演の依頼がくる。言葉はもちろん、外国人との価値観・生活スタイルの違いが今よりも色濃いう時代、不安はなかったのだから。

「言葉の心配は、特に感じませんでした。もちろん、通訳の方はいましたし、ただ演舞指導する中でいちいち通訳を待たせられない。身振り手振りでガンガン指導しました(笑)。でも言葉以上に苦労したのは、



リズム感の違い。我々とは全く違うでしょ、もともと持っているリズム感が。演舞して、どこかおかしいんだけど、どこがおかしいかわからない(笑)。なので、何度も何度も踊って教えるんです。そうすると、言葉はいらぬ。不思議なもので言葉は全く通じないのに演舞は伝わっていくんです。」

国際交流協会との協力関係は現在も続いている。当初は外国人とのエイサーがこれほど続くとはい誰も思っていなかったという。しかし今となっては、県内数あるエイサー団体の中で、これほどパリエイティに富んだグループはなく、緑樹苑エイサーの大きな特色となっている。

## ■過去と現在と、そして未来へ。

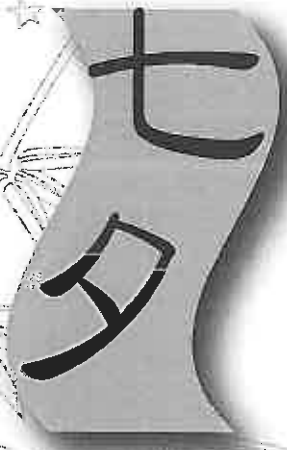
八月に国際交流協会との沖縄全島エイサーまつりへの共同演舞も控えており、すでに七月から週三回、毎回二時間の合同練習も始まっている。勤務終了後の練習、その後の語らいは三十年前と同じ風景だが、行きかう言葉は変わった。日本語うちなーぐちに交じって英語、スペイン語、中国語も聞こえる。皆額に玉の汗を輝かせ、力強くばちを振りおろし、精一杯の声を出す。歴史を繋いできた先人たちへの感謝の気持ちと、海を隔てた地で奮闘する仲間たちに届

けとばかりに、その声は、いつでも沖繩市の夏の夜に響く。長年、緑樹苑エイサーを引っ張ってきた職員が言った。

「僕は今五十九歳ですがまだまだやりますよ。引退?とんでもない。七〇歳まで大太鼓担いで踊りますよ(笑)。エイサーは男も女も関係ない。上司も部下もその時は関係ない。皆で一つのモノを作り上げる、同じ汗をかくことで『仲間』になれるんです。この緑樹苑の財産を次の世代にも受け継いでもらいたいですね」



# ていんさぐめ花七夕会



7月7日、七月の季節行事『七夕会』を開催しました。

美しい(?)織姫、彦星の登場に始まり、七夕の由来の語りや職員の踊りもあり、会場は七夕の雰囲気にも包まれました。おやつのア이스クリームでしばしの涼を取りながら、利用者の皆様は大変楽しまれました。

(土江洲ひとみ)



今年の織姫(?)と彦星。



男前な彦星と記念撮影♪



開催を楽しみに待つ入居者ら。



短冊に書かれた願い事を織姫(?)が紹介。

## 織姫と彦星の仲を引き裂く「天の川星人!？」登場 はいびすかす職員創作劇「七夕物語」

### はいびすかす七夕会

七夕の7月7日(月)ケアハウスはいびすかすで七夕会が行われました。司会の謝花介護主任の進行で会が始まり、與古田施設長の挨拶、入居者を代表して宮平節子様は乾杯の一言をいただきました。

織姫役(上原美樹介護員)、彦星役(古謝圭介介護員)が登場すると、会場の参加者から大きな拍手での出迎えが有り、おおいに盛り上がりました。

また、職員による創作劇『七夕物語』を披露すると、入居者だけでなく他職員、見学にいらしていた入居者のご家族からも笑い声が聞こえ、皆楽しんでる様子でした。

その他、短冊に書かれた願い事が紹介され、「たなばたさま」を全員で合唱して、七夕会を終えました。(古謝圭)



創作劇での織姫と彦星。右は、二人の仲を引き裂く『天の川星人』



創作劇での1シーン。織姫と彦星を守るため、天の川星人と戦う笹の葉シスターズ。



童謡「たなばたさま」に合わせて『笹の葉シスターズ』によるダンスが披露された。

平和を祈念して

第八回 琉球王朝礼楽奉納演奏

六月二十八日 糸満市平和祈念堂

沖繩戦戦没者の慰霊と、争いのない平和な世界になることを祈念した奉納演奏は今回で8回を数える。



(上)王府おもろ謡る保存会  
(左)阿波連御座楽保存会



今年には昨年発足した山内盛彬伝承楽曲保存会(会長・安仁屋眞昭王府おもろ伝承十五代)が主催となった。出演は王府おもろ謡る保存会、首里クエーナ保存会、阿波連御座楽保存会、湛水流伝統保存会、啓扇本流船乃会、船越節子舞踊研究所、混声合唱団ムジカ・ビーバー、首里少年少女合唱団の8団体、約100名。緑樹会からも各団体に所属する職員20名が参加した。  
参加者は「今年初めて参加した。このような場所で演奏できることは非常に光栄」、「年々戦争体験者が少なくなっている。緑樹会の利用者も同じ。私たちは(戦争)体験者から、直接話を聞くことが出来る最後の世代として、先人たちの思いを未来へと繋げていかなければならない」と語った。(金城和郎)

礼楽塾「三板(さんぱ)」

参加者募集中!!



講師の比嘉マチ子先生



琉球音楽に欠かせない道具のひとつ「三板」。文字どおり三枚の板を片手でカッチカッチ♪もう一方の指がその板先に触れると、なんとも流れるような心地良いリズムが鳴り響く。

これを自由に奏でることができたら素敵ですね。

礼楽塾目玉のひとつ「三板」では、沖縄民謡界で大活躍の比嘉マチ子先生を講師にお招きし、基礎から三板を楽しむことができますよ。第一・第四火曜日、総合福祉センター緑樹苑会議室で開催中。一緒に三板を奏でましょう!



# ボランティアでライブ (歌手 瀬良垣さやかさん)

## 自身作曲のうた「おぼあ」を披露

歌手の瀬良垣さやかさんによるミニライブが5月23日(金)、緑樹苑デイサービスで行われました。

瀬良垣さやかさんは、うるま市出身で東京と沖縄を拠点に音楽活動を行っており、今回、ボランティアで利用者のみなさんに歌を披露したいとのことで、ミニライブが実現しました。

瀬良垣さんは、最近、祖母が弱音を吐くようになり元気づけたいという思いから、自身で「おぼあ」という曲を作り、高齢者施設でボランティアのライブを行っているそうです。

その曲の一部を紹介します。「おぼあ」の生きてきた人生が、今私の道しるべ。これからも一日を大切に一緒に生きて行こうね」

ライブ終了後、デイサービスの利用者らからは「また沖縄に来たときには緑樹苑にぜひ来てね」とたくさんさんの声がありました。これからも活躍を期待しています♪(宮城佐和子)



# みどり学童エイサー隊、キャンプフォスター内イベントでエイサー披露

6月21日(土)、キャンプフォスター内で開催された児童青少年の為にフェスティバルに、みどり学童エイサー隊が招待され、エイサーを披露しました。学童クラブの児童らは、基地内の雰囲気におくれすると思いきや、全くもっていつものペースで大騒ぎ。振る舞われたホットドックやアメリカンアップ。

本番では、エイサーの衣装をまとい、会場の舞台で大きな声を出しながら一生懸命に太鼓を響かせ練習の成果を發揮しました。会場は大きな拍手に包まれ、来場者にも喜んでいただけようです。

その後は会場内でのビーズアクセサリーやフェイスペイント、貝殻アートなどの様々なクラフトづくりを楽しみました。作り終

えた後には、緊張した面持ちながらスタッフの方に「Thank you」と英語で伝えていました。身近なところで国際交流が行える環境を子ども達と共有したいですね。

(幸喜穂乃)



## 後援会だより

暑さがじわりじわり勢いを増し、蝉の大合唱に目覚める方も多いのではないのでしょうか？8月は苑内エイサーに夏祭りイベント盛り沢山の緑樹会。この暑さに負けることなく、後援会も盛り上げていきます。

さて、年度も1/3が過ぎましたが、後援会には新会員が入会しまもなく400名に届く勢いとなりました。後援会会員は随時、募集しておりますので、興味のある方はご連絡下さい。

後援会は、緑樹会の事業及び運営を支援するとともに、社会福祉事業に対する地域社会の理解を深め、あわせて会員相互の親睦を図ることを目的としています。

■年会費:2,400円(毎月発行の広報誌「竹とんぼ(後援会だより)」の郵送費等へ充てられております。)

### 後援会 新規入会者紹介 (H26.4月~6月入会)

田中智枝子様(No389) 天願洋子様(No392)  
名嘉隆一様(No390) 宮城孝子様(No393)  
町田隆様(No391)

ご入会ありがとうございます。

## 礼楽塾

礼楽塾とは、緑樹会に集う人々が「礼」によって美しく調和し、「楽」によって自らの人生を謳歌することを目的に行われる後援会会員のための活動です。日程が変更になる場合もあります。参加ご希望の方は、事務局までご連絡下さい！(\*印は、会場が講師の道場等となります。)

■三板	第2・4(火)	■王府おもろ*	第2・4(水)
■御座楽・路次楽*	毎週(火)	■応急手当法	第2(木)
■ハワイアンフラ	毎週(水)	■琉球史	第1・3(木)
■島言葉	第1・3(水)	■湛水流三線	第3・4(金)
■クエーナ	第1・3(水)		

## PHPかりゆし友の会

### PHPかりゆし友の会 第3回定時総会の報告

平成26年7月19日(土)に総合福祉センター緑樹苑内会議室において第3回定時総会が行われました。12名の会員のが出席され、平成25年度事業報告及び決算報告、平成26年度事業計画及び予算計画が提案され、審議の結果、承認可決いたしました。また、前年度まで当会の会長を務めていた金城和昌(緑樹会理事長)に変わり、新たに金城和郎(同事務局長)が選出・承認され、新会長に就任しました。

- 日 時:平成26年9月13日(土) 17時~
- 場 所:総合福祉センター緑樹苑 会議室
- 内 容:
- 連絡先:090-1945-0752(田中)、098-930-2525(金城)

PHPかりゆし友の会は、「素直な心になりましょう」をモットーに、学習会や交流会等を行っています。セミナー開催時に入会受付を行っておりますので、ぜひ、ご参加ください。

(PHPかりゆし友の会は、奇数月の第2土曜日17時から開催しています)

# 8月行事

	介護老人福祉施設緑樹苑	ケアハウスはいびすかす	ケアハウスていんさぐぬ花	緑樹苑デイサービスセンター	みどり学童クラブ
1(金)				手芸クラブ・手作りおやつ会	子どもの国
2(土)					デイサービス交流会
3(日)					
4(月)					デイサービス交流会
5(火)					県総合運動公園プール
6(水)					ゆうな公園・デイサービス交流会
7(木)		手芸クラブ	防災訓練		
8(金)	ウンケー 緑樹苑エイサー	ミニシアター	旧盆エイサー	手芸クラブ・緑樹苑エイサー	園外活動(北部)
9(土)				映写会	デイサービス交流会
10(日)	ワークイ				
11(月)		ミニドライブ			デイサービス交流会
12(火)		カラオケクラブ	誕生会		倉敷ダム
13(水)		防災訓練			マンタ公園・デイサービス交流
14(木)	防災訓練	書道クラブ		防災訓練	
15(金)				手芸クラブ・苑内交流	子どもの国
16(土)					デイサービス交流会
17(日)					
18(月)		お茶会			デイサービス交流会
19(火)		手芸クラブ			白河公園
20(水)		カラオケクラブ		手作りおやつ会	デイサービス交流会
21(木)		美化活動			
22(金)	緑樹会夏まつり	緑樹会夏まつり・ミニシアター	緑樹会夏まつり	緑樹会夏まつり	緑樹会夏まつり
23(土)					デイサービス交流会
24(日)					
25(月)		誕生会			県総合運動公園プール
26(火)					
27(水)	防災訓練	防災訓練		防災訓練	
28(木)		散髪・書道クラブ		映写会	
29(金)	誕生会			誕生会・手芸クラブ	
30(土)					
31(日)					

## 編集後記

『異常気象』という言葉が毎年耳にしている気がしますが、恐いのは警戒心が薄れ油断をしてしまうこと。

先月7月は、梅雨が明けたと思いきや早くも台風が襲来。しかも過去最強クラス。『暴風』『大雨』などで初の『特別警報』が発表され、県民の約4割にあたる59万人に避難勧告が出されました。記録的な暴風、記録的な大雨で、各地で停電、浸水や冠水、土砂崩れなど大きな爪痕を残した台風8号。台風の年間発生数は平均(過去10年)して約23〜24個。今年は何年より台風が発生しやすいと言われていました。(昨年は31個) 毎年の事ではあります。今年には特に、『台風対策』のみならず、『災害対策』として取組み、備える必要があります。

(砂川智規)

## 感謝録

(平成二十六年六月一日〜六月三十日)

(金員の部)

金城宏子様

温かい御支援、御協力下さいました方々に、厚く御礼申し上げます。

